

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 博物館収蔵品データベース等システム管理費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 博物館 総務部管理調整係 電話番号：0575-28-3111(内250)

E-mail：c21804@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 918 千円 (前年度予算額： 1,173 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,173	0	0	0	0	0	0	0	1,173
要求額	918	0	0	0	0	0	0	0	918
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県民の方々に、博物館収蔵品を活用した学習機会の提供や学芸員の調査・研究のための資料情報管理が行えるようにするとともに、博物館収蔵品に関する情報資産の管理や県内の地質情報等のインターネット公開等にかかるシステムの運用を行う。

また、「Web版岐阜県地質図」の管理・運用を行い、県民の生活の基盤となる地質情報を発信することで、豊かな「ふるさと岐阜」の自然環境の基盤となる県内の地質情報をわかりやすく提供する。加えて、岐阜県における主な災害や環境保全、産業振興、教育、観光に活用できる県内の地学情報を提供する。

(2) 事業内容

○収蔵資料管理システムの運営

- ・人文・自然が所蔵する収蔵品のデジタルデータを岐阜県博物館収蔵品データベースへ入力する。
- ・岐阜県博物館収蔵品データベースを利用した学芸員の業務効率化のための研修等を実施する。

○岐阜県博物館ホームページの運営

- ・閲覧者が興味関心を持てるように岐阜県博物館の最新情報を発信する。

○Web版岐阜県地質図

- ・岐阜県内の地質や、災害や環境保全、産業振興、教育、観光などに活用できる地質に関わる様々な情報を提供する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県単独事業として実施

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	50	VRヘッドセット修繕費
委託料	171	H P 保守管理・翻訳リンク作成委託
使用料	697	サーバーレンタルサービス（30G）、収蔵品データベースシステム、公開用サーバーシステム（地質図）
合計	918	

決定額の考え方

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県民への博物館事業等の発信や学習機会の提供、収蔵品等の情報資産の管理や県内の地質情報等の発信を行うために、公式ホームページの運用、収蔵資料データベースの管理・公開を行う。加えて、教育・行政・環境・防災・観光などの資料としてWeb版岐阜県地質図を岐阜県地学調査より引継ぎ、公開して広く利用に供する。以上につき随時最新情報に更新する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H26)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
ホームページアクセス数	0	353,440	120,000	120,000	120,000	295%

※現行のホームページは平成27年度より運用している。

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>（1）収蔵資料管理システムの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入・登録資料（登録主番号のある資料）件数管理と現物実査（利用履歴・出入庫記録に代替） ・データベース抜粋公開サイトと展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」の運用・更新 ・帳票出力機能を活用した様式（書式）の自動作成による業務圧縮・効率化（継続） <p>（2）岐阜県博物館ホームページの管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーバ移行・増強により、催事受付機能の強化とオンライン公開データを拡充 ・錯綜したサイトマップを整理、再構築してわかりやすいサイトに更新、情報発信力を強化 ・催事受付機能を使いにくい独自システムから全県的に導入したLogoフォームへ移行 ・スライダー機能を活用し、展覧会など、おすすめ情報を効果的・印象的に広報 <p>（3）Web版岐阜県地質図の管理・運営</p> <p>（4）その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS:各係に更新を呼びかけ、フォロワーとインプレッションを獲得（5年3月に3000フォロワー達成） ・SNS:プロフィール画像を開催中展覧会に更新（ホームページのスライダーを流用・連動して広報効果） ・デジタルコンテンツ：恐竜VR、恐竜AR（教育普及係）、刀剣鑑賞システム（刀剣鑑賞自由自在）（MM係）を公開
	<p>指標① 目標：120,000 実績：137,827 達成率：115%</p>

令和5年度	<p>(1) 収蔵資料管理システムの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入・登録資料（登録主番号のある資料）件数管理と現物実査（利用履歴・出入庫記録に代替） ・データベース抜粋公開サイトと展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」の運用・更新 <p>(2) 岐阜県博物館ホームページの管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーバ移行・増強により、催事受付機能の強化とオンライン公開データを拡充（継続） ・催事受付機能を独自システムから全県的に導入したLogoフォームへ移行（継続） ・スライダー機能を活用し、展覧会・新規DX事業などをタイムリーに広報 ・こどもミュージアムを整備（新規） ・開館情報をトップページにバナー追加（新規） <p>(3) Web版岐阜県地質図（ジオランドぎふ）の管理・運営</p> <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS：各係に更新を呼びかけ、フォロワーとインプレッションを獲得（5年3月に3000フォロワー達成、6年2月現在3,357） ・プロフィール画像を開催中展覧会に更新（新規） ・X（旧ツイッター）に加え、Facebookを復活・インスタグラムを追加し、広い世代向け発信を図る ・デジタルコンテンツ：「刀剣鑑賞自由自在」に新規データを追加搭載
	指標① 目標：120,000 実績：125,027 達成率：104%
令和6年度	<p>(1) 収蔵資料管理システムの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声ガイドアプリ（ポケット学芸員）新規18件 <p>(2) 岐阜県博物館ホームページの管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもミュージアムを整備（5年度～） ・トップページに開館情報バナー、リンクボタンを追加（継続）、特別展予約サイトにリンク（新規） ・「こどもミュージアム」にダウンロードコンテンツ（きりえ）を拡充 <p>(3) Web版岐阜県地質図（ジオランドぎふ）の管理・運営</p> <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS：X（旧ツイッター）、Facebook、インスタグラム（5年度～）を運用 ・SNS：Xのフォロワー3,900（令和7年2月末現在） ※「ポケモン化石博物館」で急増 ・重要な広報ツールであり、HP停止時に、情報発信の代替、他サイト誘導等で威力を発揮 ・デジタルアーカイブなど：刀剣鑑賞システム「刀剣鑑賞自由自在」新規15件を追加 ・デジタルコンテンツ（人文係・絵葉書コレクションなど）を作成
	指標① 目標：120,000 実績：353,440 達成率：295%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	博物館資料である収蔵品は重要な地域資産も含まれており、その収蔵品の管理を行う上で収蔵資料データベースは必要不可欠である。学芸員の業務の効率化は地域資産等の収蔵品を確実に守護することにつながるため、事業の必要性は高い。また、地質情報は県民の生活の基盤となることに加え、防災・環境保全・産業振興・教育・観光などに必要な基礎情報である。このように、県民への情報発信・提供の重要なツールとして、当該事業は必要性が高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	コロナ禍を経て世間のICT環境整備が進み、県民への情報発信ツールとして利便性が向上した。これに伴い、来館動機や情報収集や催事申込手段としてホームページ等の利用が進み、事業の効果が現れている。県内地質情報についても、事業者を中心に利用が増加傾向である。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	資料管理を紙媒体で行っていた時の資料検索に比較して本事業のシステムを用いた検索を行った場合、年間で762時間の短縮ができ経費の削減につながった。 ホームページ経由の催事申込の利用が増え、受付簿の作成等、受付に関する業務の効率化につながった。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 収蔵資料データベースの拡充により、将来的にインターネット経由の情報公開件数増が可能となる。国の分野横断統合ポータルとの連携も検討されており、より広範な利用促進が図れる。日々拡大する膨大な資料情報の収集・登録作業と併行して県民サービスの一環として公開データの増大できるよう業務の効率化が課題である。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県民のニーズである収蔵品情報の公開を行うためには、収蔵品の詳細データの完全入力やインターネット公開用の資料データの検討が必要であり継続すべき事業である。また、博物館ホームページによる情報提供やWeb版岐阜県地質図による県内の地質全般の情報を提供するサービスによって来館者数が増加していることから継続すべき事業である。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	<div>【〇〇課】</div>